

## 河南孟電集團熱力有限公司の概況

### 持続可能な生産を推進し 澄んだ水と青い空を残そう

河南孟電集團熱力有限公司は孟電集團の親会社で、1987年に創立されました。長年にわたり、わずか1台の6,000kW小型発電ユニットから、国の産業構造調整という大きな環境の下で、持続可能な生産の中で自らを発展させ、後れた生産設備を淘汰する中で一步一步変化し発展して来ました。

環境保護事業では、当社は毎年巨額の投資を惜しまず環境保護の新技术を導入し、環境保護の新プロジェクトを建設し、クリーンプロダクションの実現に努力し、後の世代のために澄んだ水と青い空を残そうとしています。



小規模発電ユニット爆破の瞬間

科学的発展観を実現するために、国の「大規模発電所を新設、小規模発電所を廃止」という省エネ・排出削減政策に呼応しています。2007年10月26日、孟電は20年の心血を注ぎ建設した8基の小型発電ユニットを一举に爆破撤去し、直接損失は10.3億元でしたが、その年に全国で1,000万kWの小規模火力発電を繰り上げ閉鎖する目標実現のために積極的に貢献しまし

た。

2008年10月、26億元を投資して建設許可を得た2×300MW熱電ユニットの建設が全面的に着工され、このプロジェクトの工事建設が2011年末に全面的に完成しました。新たな発電ユニットの脱硫脱硝装置も同時に建設され、小規模火力発電所と比べると、等量の発電では毎年原炭42万トン節約、二酸化硫黄排出を1.5万トン削減し、全市の集中熱供給に対して小型ボイラー165台の閉鎖を可能にし、地元環境改善にとって大きな意義を持ちました。

2014年10月、9,000萬元余りを投資して既存の脱硫・脱硝・集塵に対してグレードアップ改造を行い、2015年6月に操業を開始し、汚染物質NO<sub>x</sub>/SO<sub>2</sub>/ダストの排出濃度はそれぞれ50、35、5(mg/m<sup>3</sup>)未満で、超低濃度排出ユニットの条件に完全に適合しています。

2015年の主な環境保護指標は、二酸化硫黄の発生量22,421トン、排出量639トン、除去量21,790トン、窒素酸化物の発生量4,941.5トン、排出量728.75トン、除去量4,312.7トン、ダストの発生量20,371トン、排出量115トン、除去量20,371(誤り、20,256が正しい?)トンを、省環境保護庁の汚染物質排出許可の二酸化硫黄2,500トン、窒素酸化物2,874トンをはるかに下回っています。前年に比べ、二酸化硫黄941.8トン、窒素酸化物1,670.25トン、ダスト190.73トンの排出を削減しました。



発電所の脱硫、湿式電気集塵改造プロジェクト